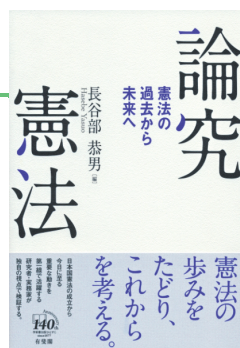


論究憲法——憲法の過去から未来へ

長谷部恭男 編

2017年5月発売／474頁／本体3800円＋税
A5判／並製



編集
担当者
から

「法学教室」の姉妹誌には、実務家を主たる読者とする「ジュリスト」と研究者を主たる読者とする「論究ジュリスト」があります。本書は、論究ジュリスト憲法特集に掲載された論稿の中から、学生・一般読者にも感心を持っていただけるであろう論稿をピックアップし、加筆修正のうえ再構成しています。本書によって、大日本帝国憲法の制定にはじまり、再婚禁止期間・夫婦別氏訴訟大法廷判決にいたるまでの憲法の動きを概観することができます。

「日本国憲法成立にむけてどのような道筋をたどったのだろうか?」「最高裁判例は憲法にどのような影響を与えたのだろうか?」「現在、考えなくてはならない憲法問題にはどのようなものがあるのだろうか?」。3つの大きな問いに第一線で活躍する研究者・実務家が答えます。日本国憲法の意義が問われている今日、日本の将来を支える皆さんに是非読んでいただきたい1冊です。(亀井)

Index

I

憲法の歩みをたどり、これからを考える。

Part I 日本国憲法へ

大日本帝国憲法の制定 (長谷部恭男)
／天皇機関説事件 (西村裕一)／ポツダム宣言の受諾 (高田 篤)

Part II 最高裁判例をたどる

砂川事件最高裁判決 (笹田栄司)／苦米地事件 (小島慎司)／三菱樹脂事件 (君塚正臣)／薬事法距離制限違憲判決 (松本哲治)／衆議院定数不均衡訴訟違憲判決 (佐々木雅寿)／日産自動車最高裁判決 (武田万里子)／北方ジャーナル事件 (山口いつ子)／南九州税理士会訴訟最高裁判決 (西原博史)／愛媛玉串料訴訟判決 (阪口正二郎)／郵便法違憲判決 (安西文雄)／在外邦人選挙権訴訟最高裁判決 (喜田村洋一)／住基ネット訴訟 (小山 剛)／広島

市暴走族追放条例事件判決 (青井未帆)／国籍法違憲判決 (常本照樹)／空知太神社判決 (西村枝美)／日の丸・君が代訴訟 (渡辺康行)／堀越事件 (大河内美紀)／婚外子法定相続分規定違憲決定 (中林暁生)／再婚禁止期間・夫婦別氏訴訟 (巻 美矢紀)

Part III 憲法の現況

個人情報保護法制 (宍戸常寿)／小選挙区比例代表並立制の導入 (上脇博之)／裁判員制度はなぜ生まれたのか (豊 秀一)／生存権保障の現況 (尾形 健)／表現の自由の現況 (齊藤 愛)／7.1閣議決定と集団的自衛権行使の限定的容認 (駒村圭吾)

Part IV あとがき

憲法の未来 (長谷部恭男)